

# 北朝鮮製スーパーノートDB券バージョン2の特徴

## 1. 表面全体写真

上：真正DG券  
(以下、真正券)



中：偽造DB券  
スーパーノート  
北朝鮮製  
(以下、DB券v1)



下：偽造DB券バージョン2  
スーパーノート  
北朝鮮製  
(以下、DB券v2)



紙幣記番号のDは(SERIES)発行2003年を意味し、Gは発行したシカゴ連邦銀行を意味する。偽造券のBは同様にニューヨーク連邦銀行を意味する。比較対象の真正券においてDB券が入手できなかったため本稿では仕様を一にするDG券を代用する。

スーパーノートDB券は2007～2008年に多く出回った種類であるが、昨年後半からその修整版とも言えるDB券バージョン2が出現した。その流通量は今年増大傾向にある。本稿では解説に際し初代DB券はDB券v1と称し、修整版のDB券バージョン2はDB券v2と称することとした。ちなみに2005年に猛威をふるったスーパーノートCB券はCB券v3の3種が発見されている。

以下にスーパーノートDB券v2の特徴を記す。

2. 裏面全体写  
上：真正DG券  
(裏面)



中：偽造DB券  
スーパーノート  
北朝鮮製



下：偽造DB券バー  
ジョン2  
スーパーノート  
北朝鮮製



裏面の右下に刻まれた小さな数字28はバックプレート番号で、印刷ドラムに装填された版プレートの場所を示している。DB券v1とv2が奇しくも同じである。DB券v2では表面のブラックシールや紙幣記番号、AMERICAなどの印刷がさほど透けて見えない。紙が厚いのかとマイクロメーターで計測すると、0.12~0.13mmでむしろ膨らんだ真正流通券よりうすいと言わざるを得ない。

実は凹版印刷の押圧に差があり、真正券とDB券v1ではいわゆるエンボス痕が顕著であるのに対し、DB券v2では押圧力が弱いためか、エンボス痕つまり刻印の刻まれ方が浅い感がある。ゆえに透けて見えないように感ずるものと解されるのである。

以下に拡大写真、紫外線写真などでその特徴を解析する。

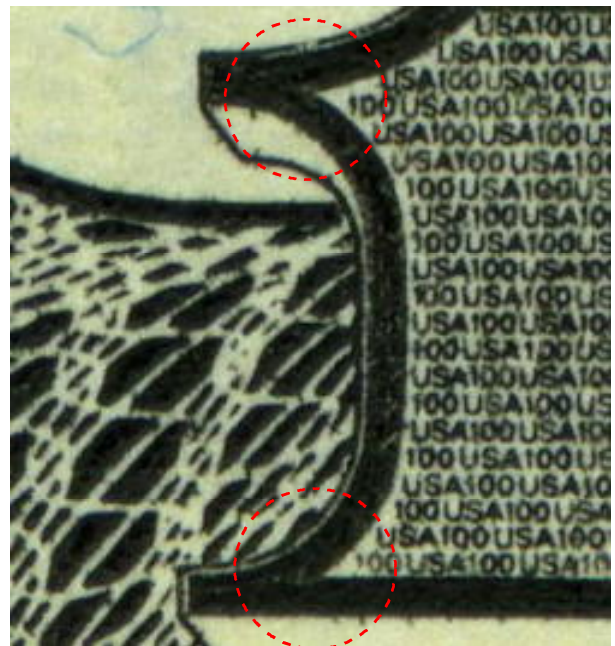
### 3. 画像デザインの差異 (表面)

#### 1) 「100」の「1」エッジ

真正券

真正券ではシャープに尖っている。

マークのデザイン的な差異として「1」字の上下2カ所について真正券では鋭角的(とがった)なデザインであるのに対し、偽造券では面取りしたような丸みがついている。



丸みを帯びている。

DB券v1



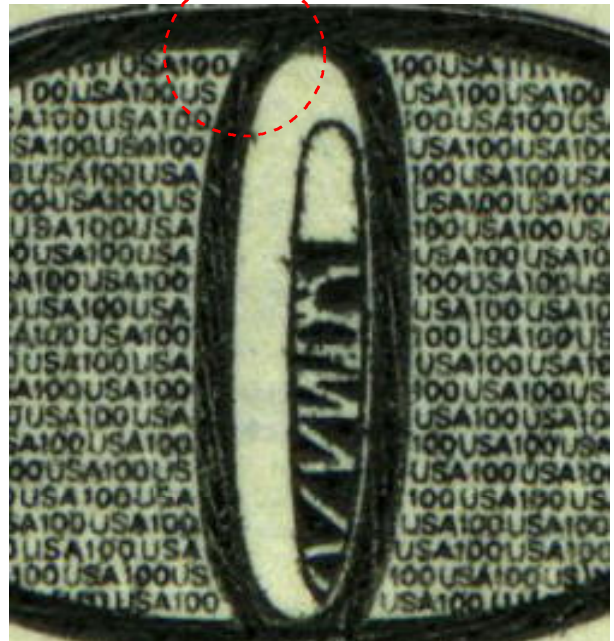
丸みを帯びている。

DB券v2



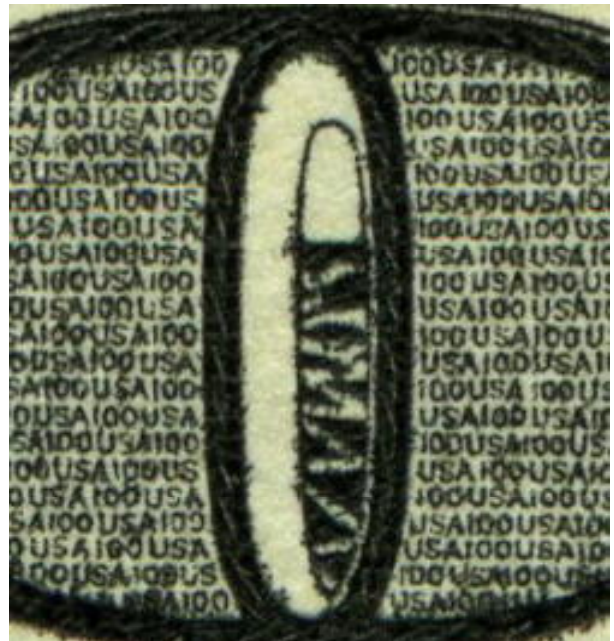
2)「100」の「1」エッジ  
半月状の先端がとがっている。

真正券



DB券v1

半月状の先端が丸みを帯びている。



DB券v2

DB券v1と同様である。



3) 財務商印のデザイン 真正券  
(外輪郭線の歯形)

表面右側の緑色財務商印の外輪郭線部分には小さな歯形が付いている。



DB券v1

偽造券ではややとがっているように見える。さらに、真正券の歯形の縁には凸版印刷に見られる現象であるマージナルゾーンが認められる。



DB券v2

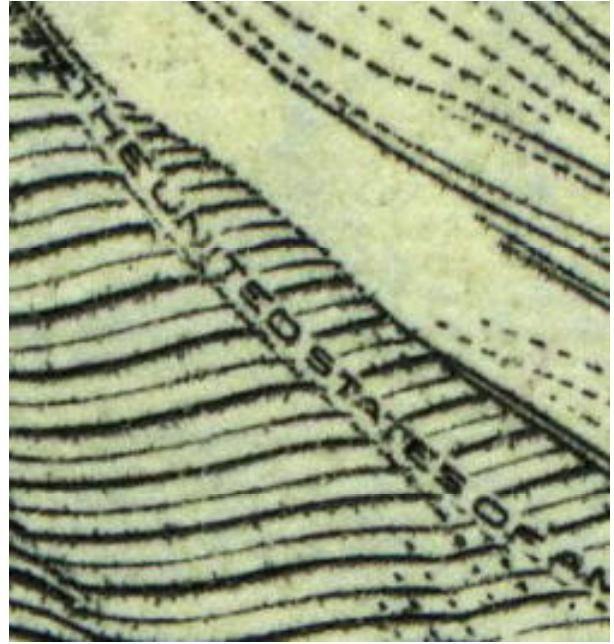
DB券v1と同様である。やや鋭角度が増しているようにも見える。



#### 4. マイクロ文字

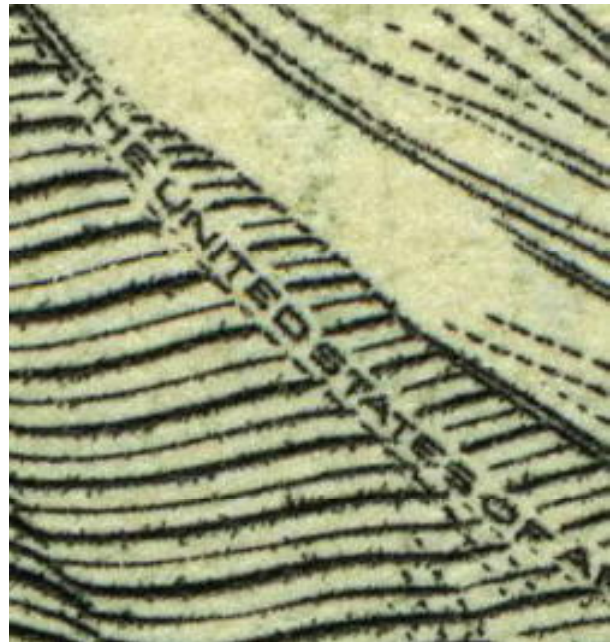
- 1) マイクロ文字の大きさ と 解像度  
真正券では E、A、F などが不鮮明。

真正券



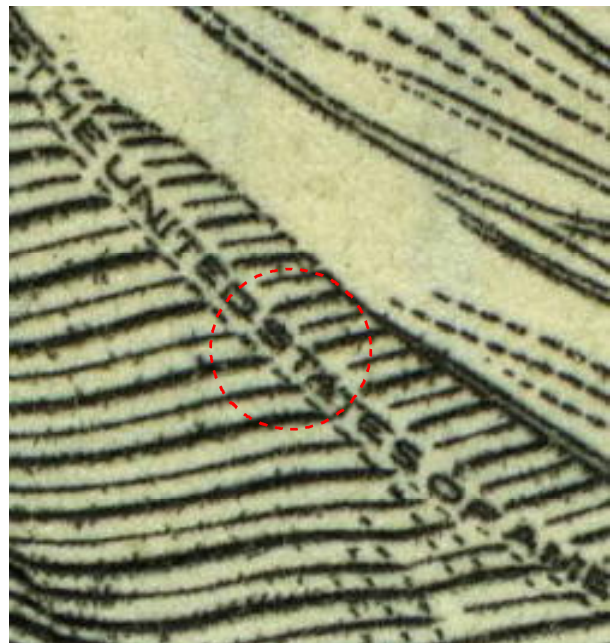
DB券v1

- DB券v1ではE、A、Fなどが鮮明。  
真正券よりやや文字が大きい。  
このことが偽造券のほうが鮮明に見える理由となっている。



DB券v2

- DB券v1ではE、A、Fなどが鮮明。

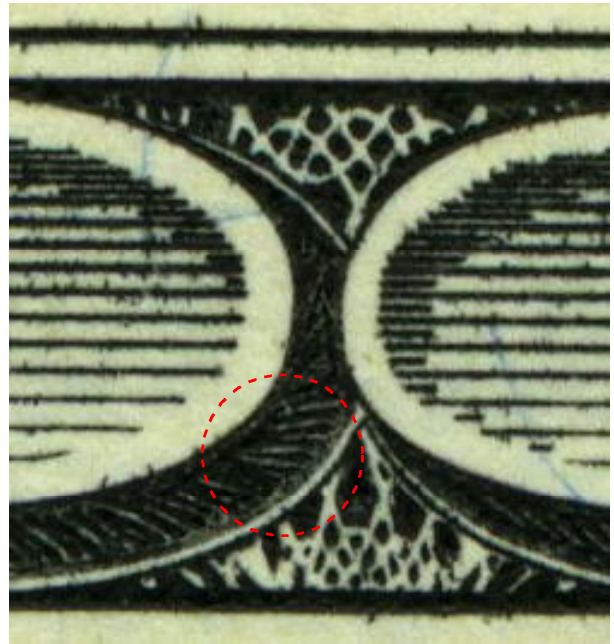


## 5 . ハッチング画線 ( ビュラン痕 )

### 1 ) ハッチング画線

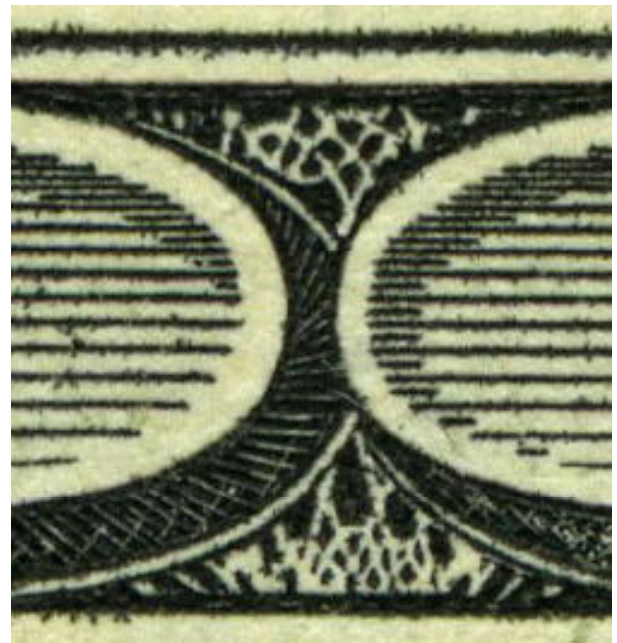
真正券

表面の上部左右には金種のマーク「100」字が見られるが、下側影部分のハッチング、すなわち微細集合線について、真正券では1本々の間隔が均一でなく手彫りの感じがうかがい知れる。



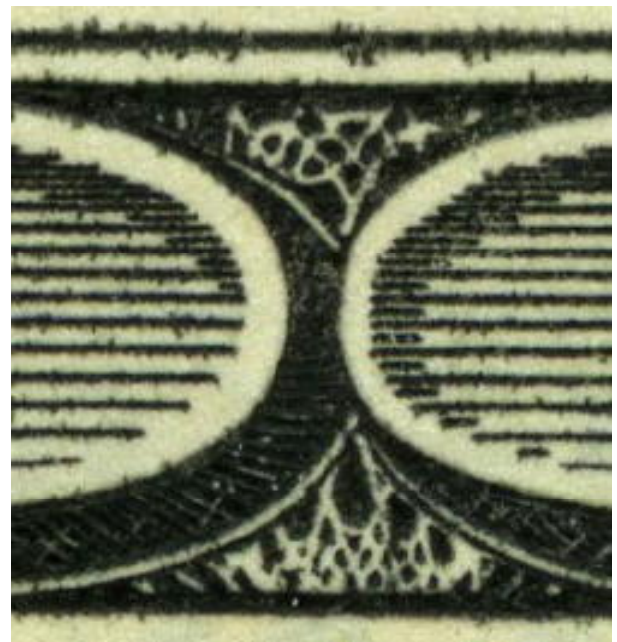
DB券v1

偽造券ではこの部分は文字の輪郭線から放射線状に広がる波紋画線となっており、偽造というよりは独自のデザインで造られている。



DB券v2

DB券v1と同様である。

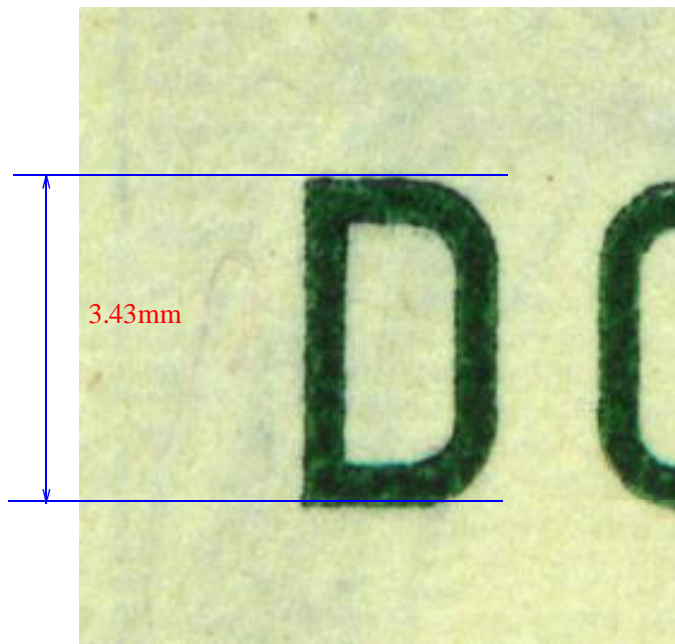


## 6 . 記番号サイズ

### 1) 「D」字

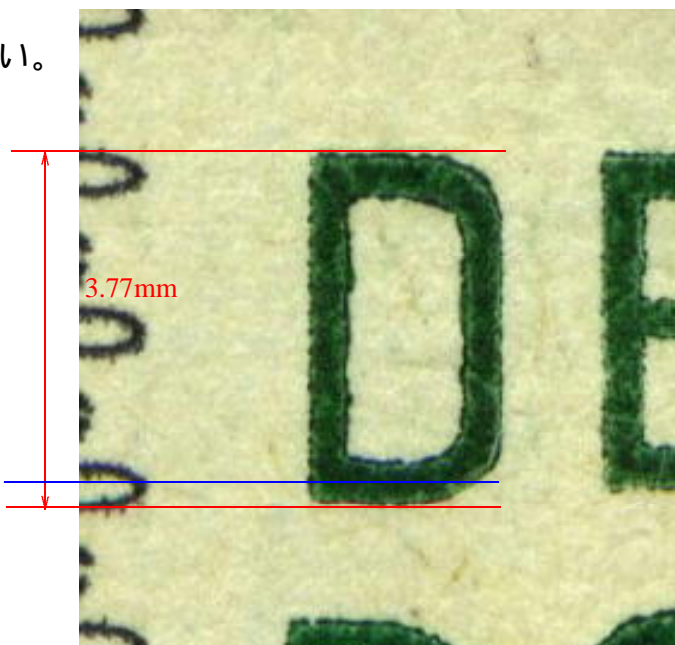
真正券

真正券のほうが文字高が低い



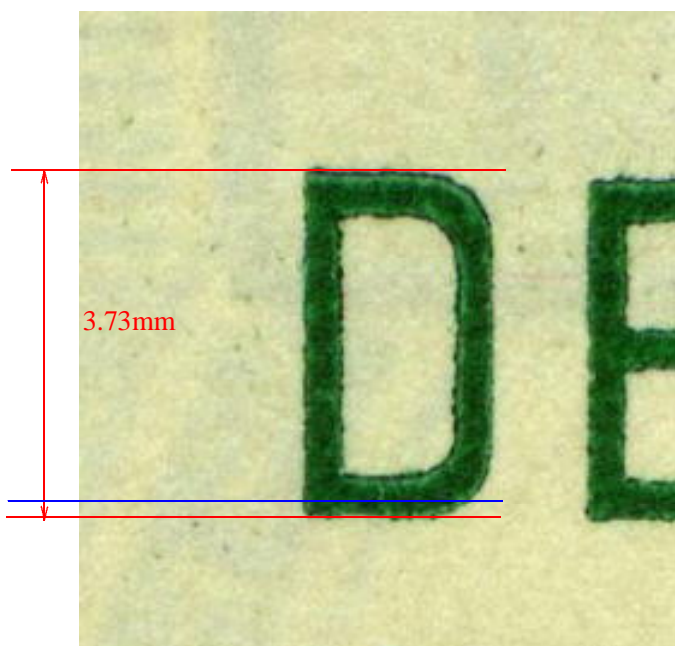
DB券v1

DB券v1のほうが文字高が高い。



DB券v2

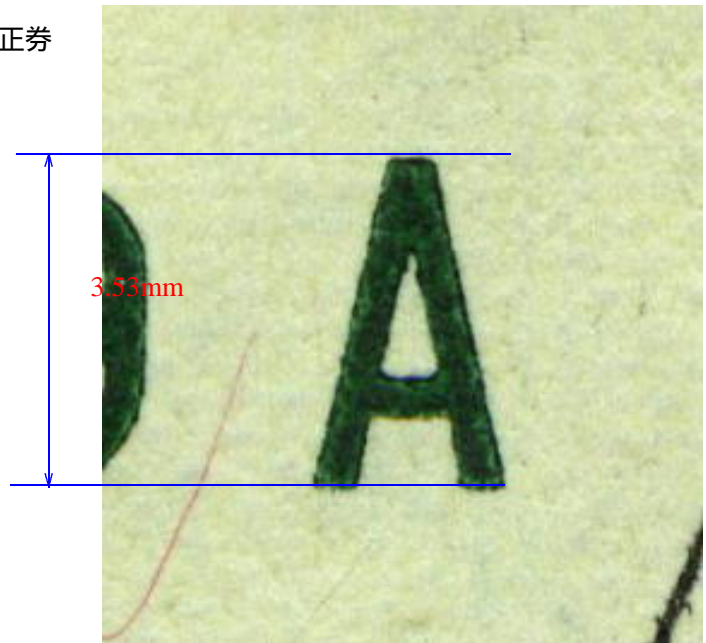
DB券v1と同様である。





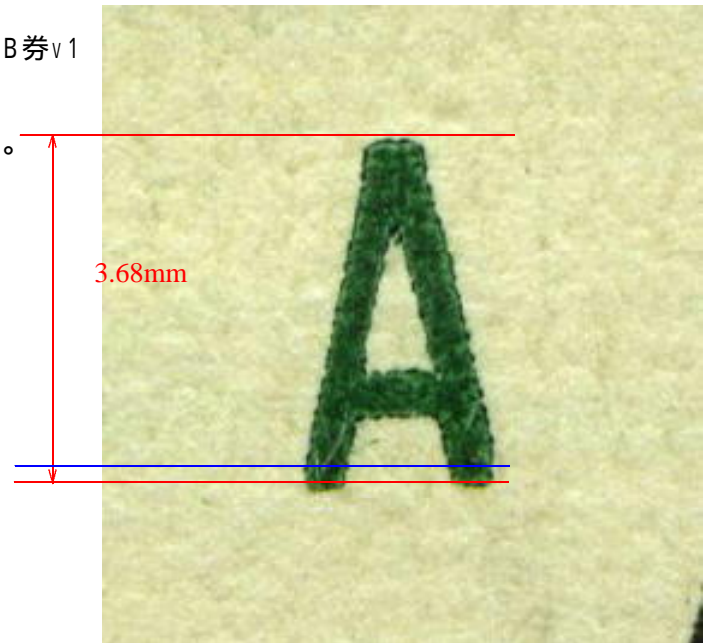
2)「A」字

真正券  
真正券のほうが文字高が低い。



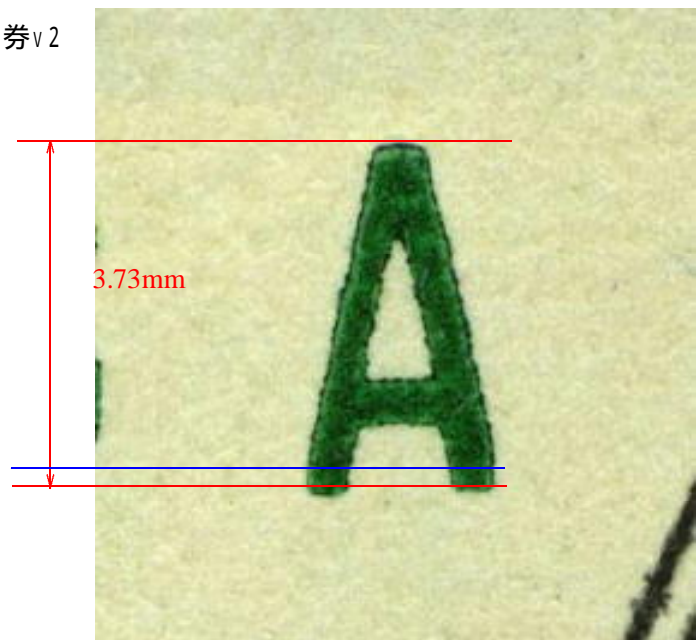
DB券v1

DB券v1のほうが文字高が高い。



DB券v2

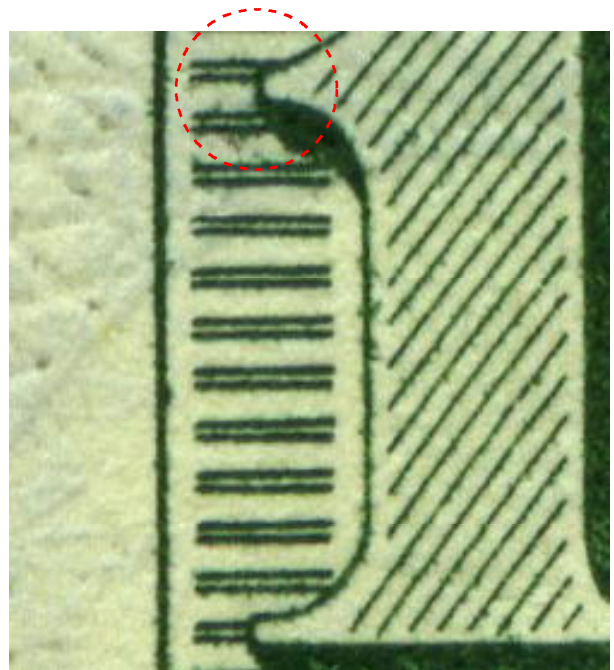
DB券v1と同様である。



## 7. 画像デザインの差異 (裏面)

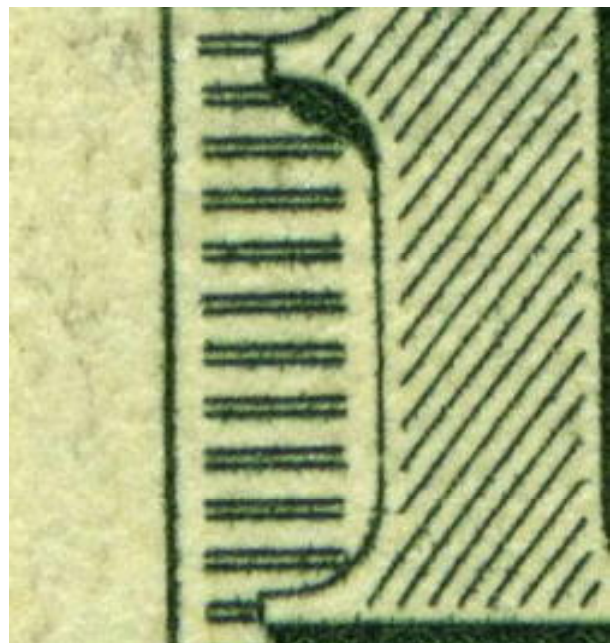
### 1) 金種マーク「100」の「1」 真正券

裏面の金種マーク「100」の「1」、始筆部の先端が丸みを帯びつつもとがっている。



### DB券v1

DB券v1では角張っている。



### DB券v2

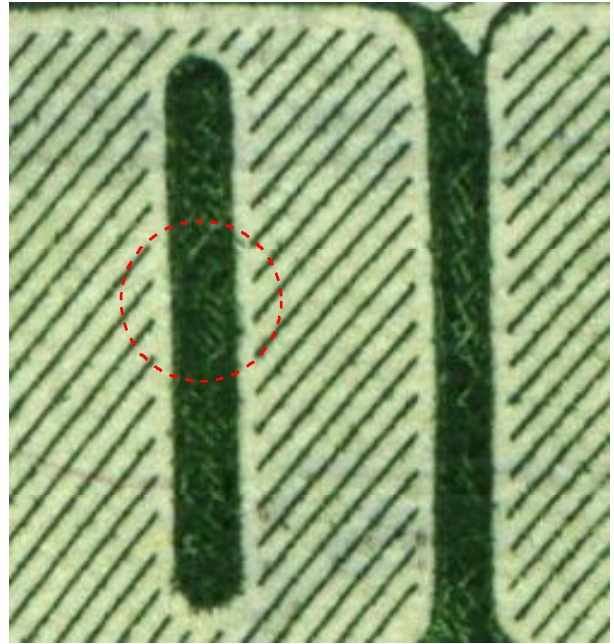
DB券v1より真正券に近い。  
やや改善されている。



## 2) 金種マーク「100」の「0」

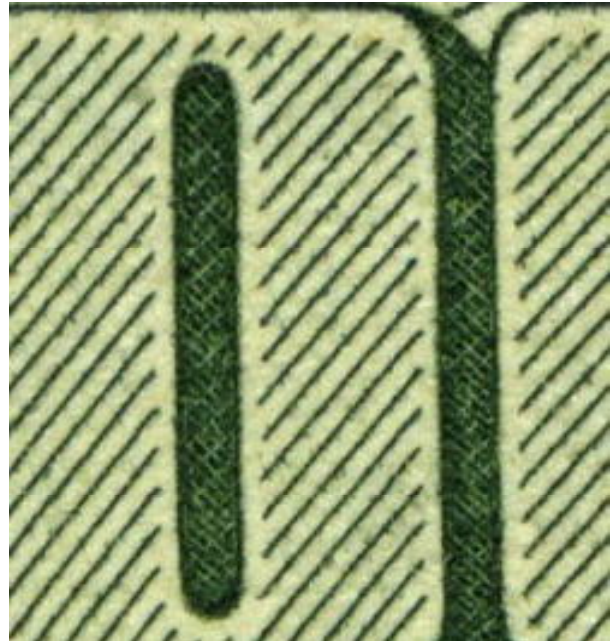
### 真正券

面の4隅には金種マーク「100」の文字が角文字的なデザインで印刷されているが、縦画線の中のハッチングについて、真正券では決して均一な仕上がりにではなく職人の手によるビュラン（彫刻刀）痕であることがわかりやすい。この部分を縦画線とみた場合わずかに右に膨らみ湾曲している。



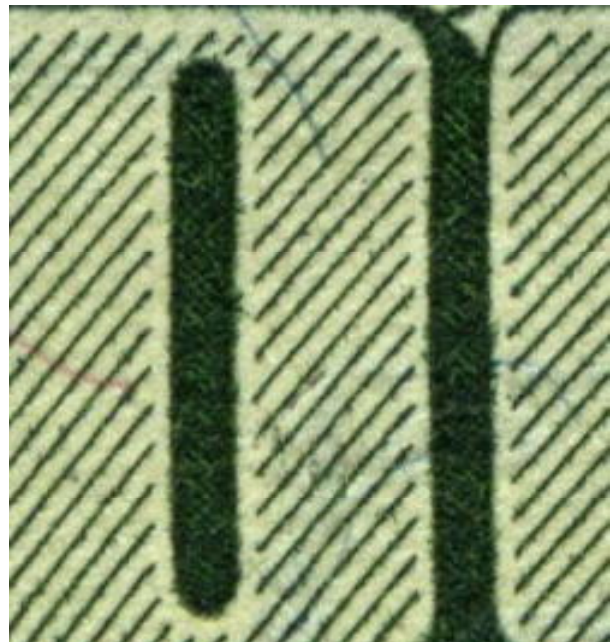
### DB券v1

しかしながら、偽造券ではあくまで均一な画線が続き機械的な風情を感ずるのである。この部分を縦画線とみた場合わずかに左に膨らみ湾曲している。



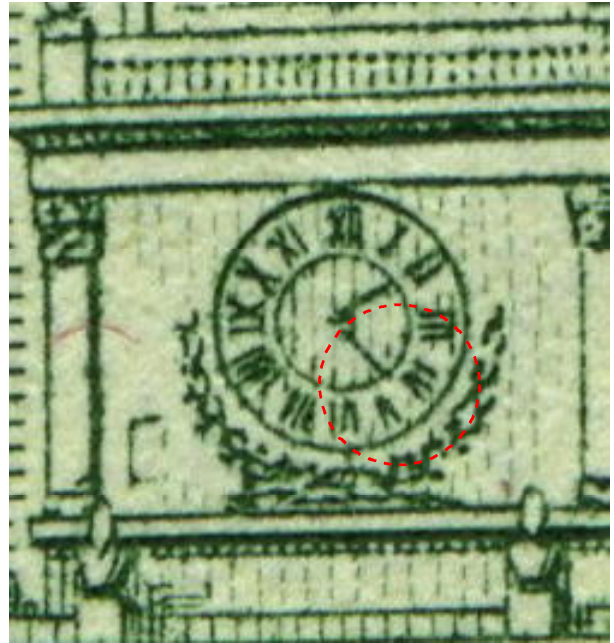
### DB券v2

DB券v1と同様である。



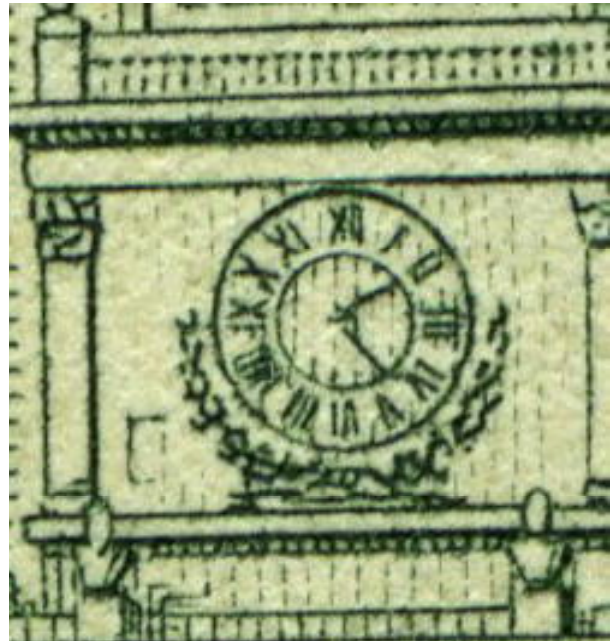
### 3) 時計台のデザインの差異

時計盤のデザイン的な見方が真正券から偽造券のほうが1～2分すすんでいるとの見方もある。しかしながら、多分に情緒的な表現となるため、鑑定に際しては「あるか、ないか」の判断をすることが望ましい。長針の先端が輪郭線から外へ出ている。

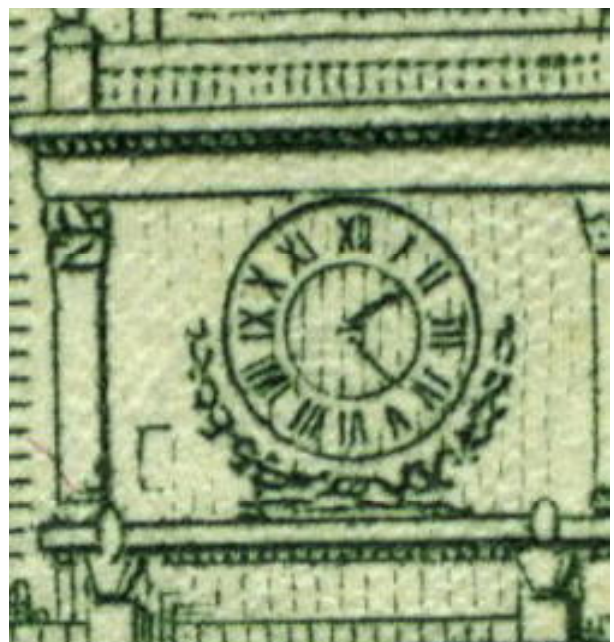


DB券v1では先端が出ていない。

DB券v1



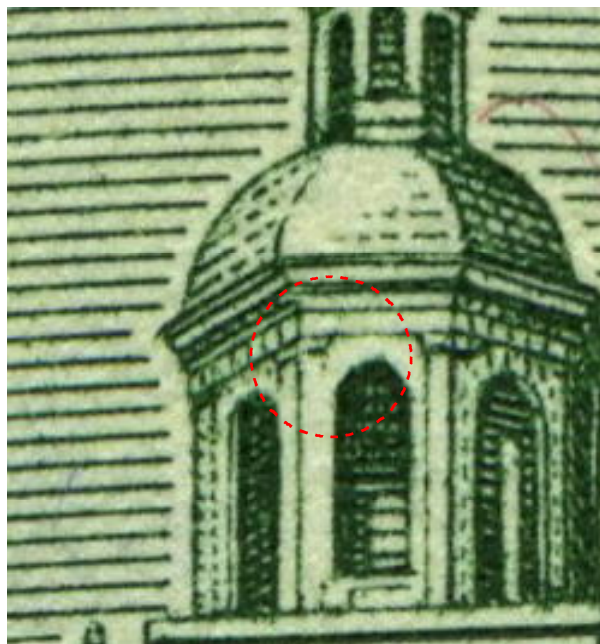
DB券v2では先端が出ている。DB券v2この点v1より改善されている。



#### 4) 時計台窓枠のデザインの差異

真正券

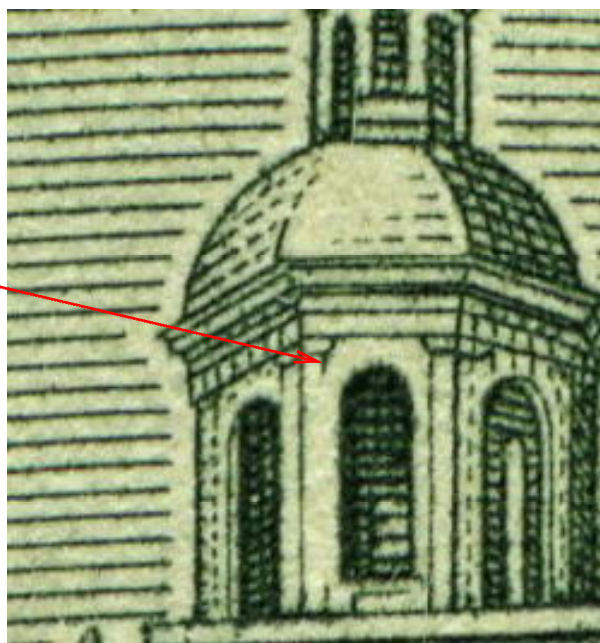
裏面中央部に描かれた独立記念館の屋根部分の画線の有無あるいは濃淡について差異が見られる。真正券では極めて薄く、細い縦の画線であるが、偽造券では明瞭に描かれ印刷されている。むしろ偽造券のほうが出来映えがよい言える部分である。



DB券v1

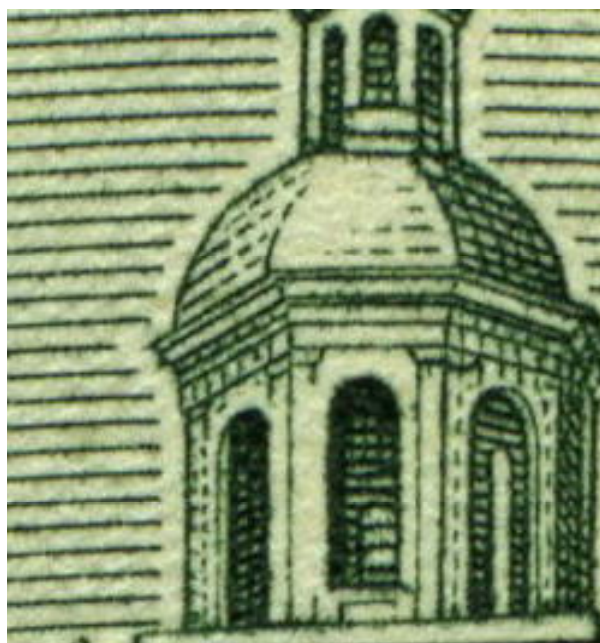
DB券v1では実線の表記である。

この線



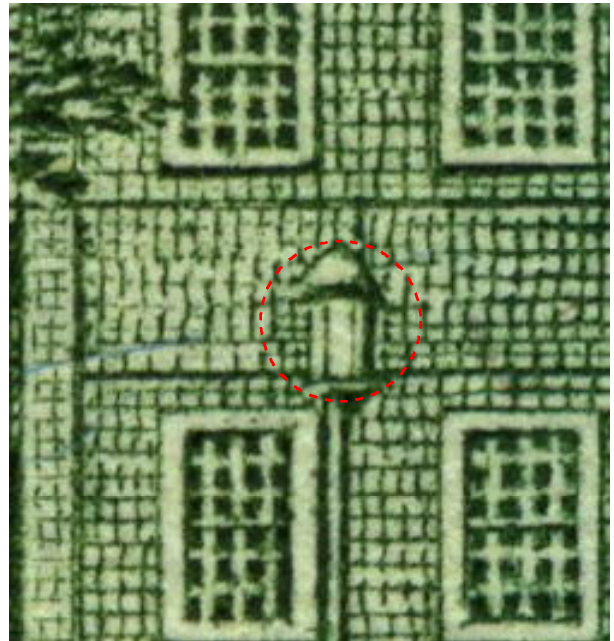
DB券v2

DB券v1と同様である。



5 ) 街灯中の右の縦画線

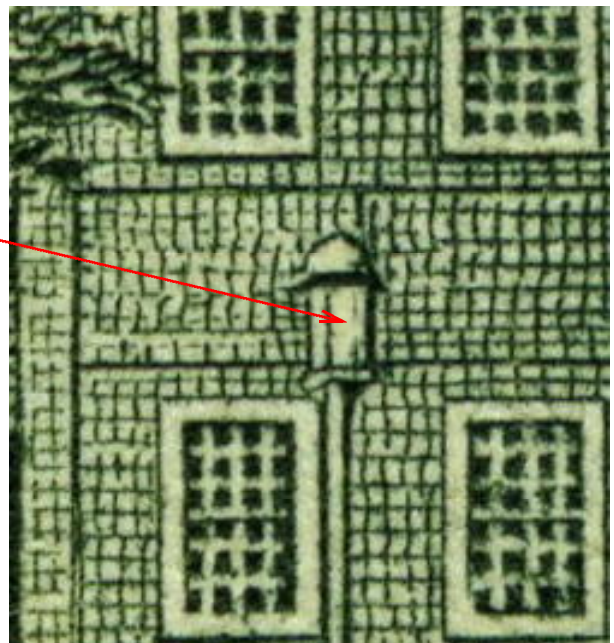
街灯中の右の縦画線が、真正真正券では実線で描かれているのに対し、偽造券では中程の画線が消えているように見える。



街灯の縦画線が消えている

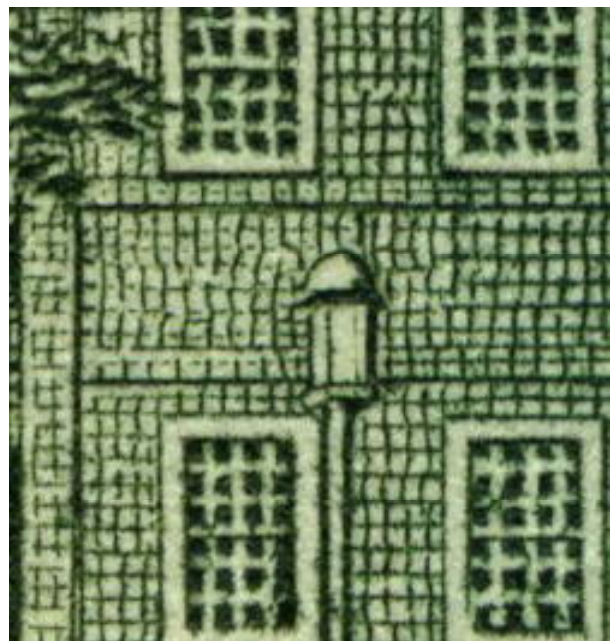
DB券v1

この部分



DB券v2

DB券v1と同様である。



## 8 . 透過光写真（表面）

すかしは真正券、DB券v1、DB券v2とも紙の凹凸により表現されている。すかしの肖像はみな違った顔に見える。実は真正米ドルのすかしは泣き顔、怒り顔、笑い顔の3種類ほどあるが微妙な差異があつてこそ、かえって注意を刺激し鑑定を促す。



9. 紫外線蛍光写真（表面）

1) 表面

紫外線すなわちブラックライトを投射し、その反射蛍光が青白く発光する。D B券 v 2では記番号が消えて見える。





2)(裏面)

D B 券 v 1 で見られた油分の蛍光発色も v 2 では見られない。



10. 赤外線写真（表面）

1) (表面)

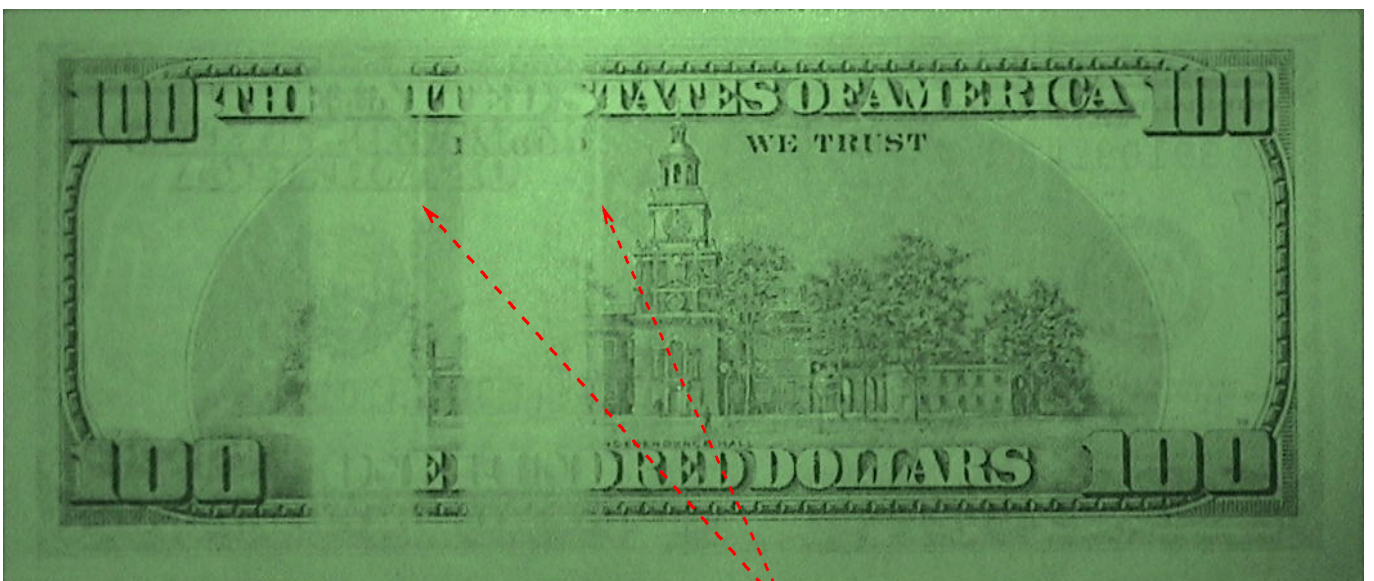
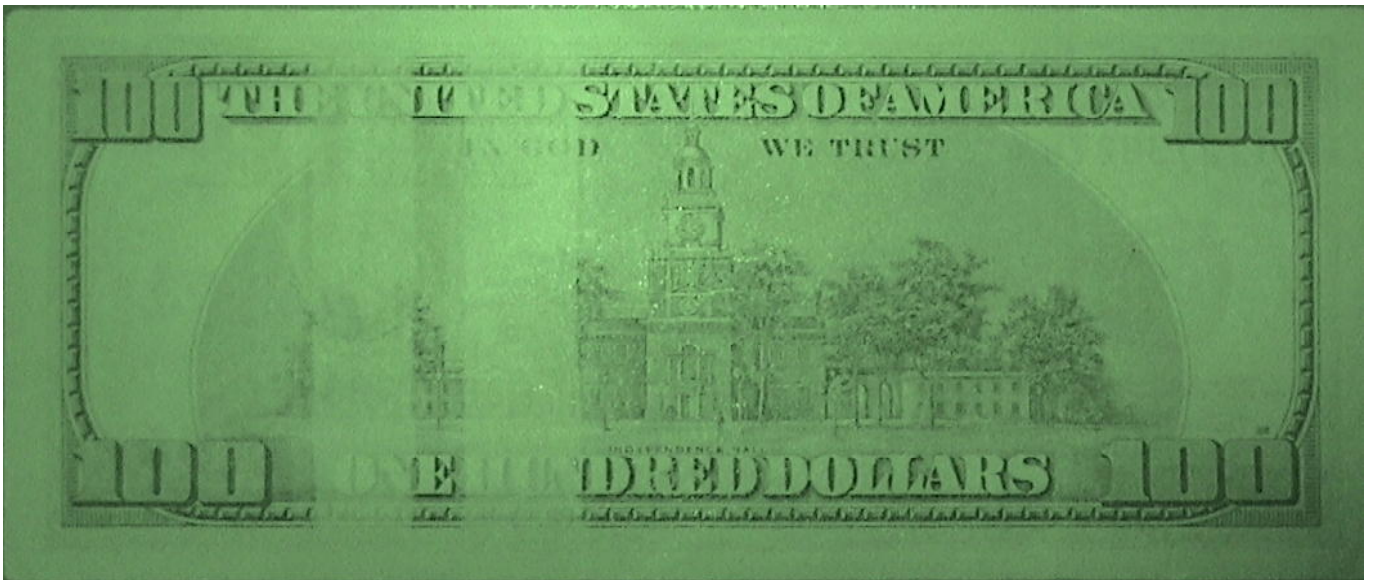
上から真正券、DB券v1、DB券v2である。DB券v2では記番号が薄く見える



1)(表面)

縦のストライプは赤外線インクを透過するため画像が消えたように見える。細かったストライプがDB券v2では改善されている。

(米ドルでは金種によりストライプの位置と幅が異なる。)



DB券v2ではこの細線が再現されている。

11. 混抄着色繊維 (900倍に拡大)

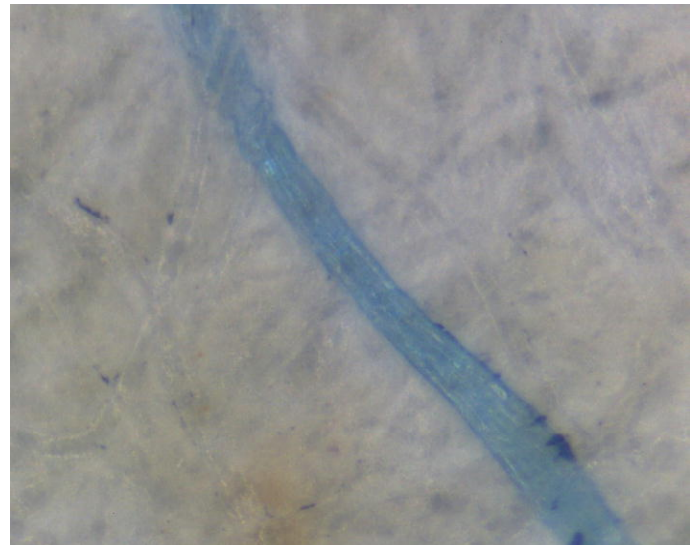
1)(青色)

混抄繊維の断面が3段に膨らんだ楕円であるのに対し、偽造券DB券v1、DB券v2では2段に膨らんでいる。

真正券



断面図

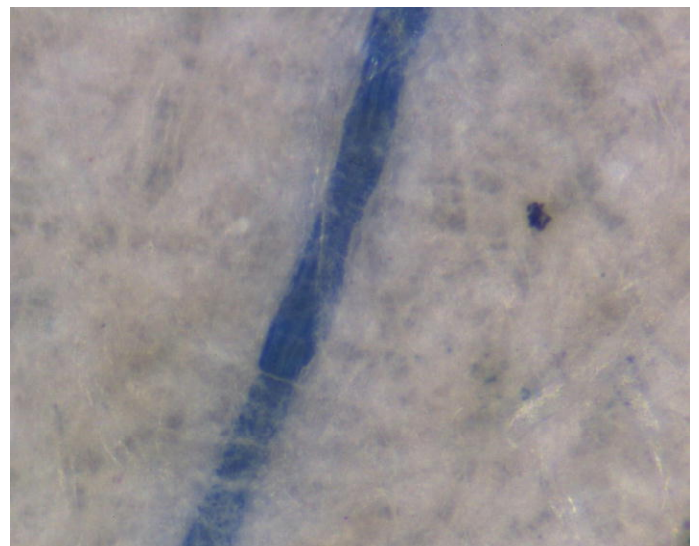


DB券v1



DB券v2

DB券v1と同様である。

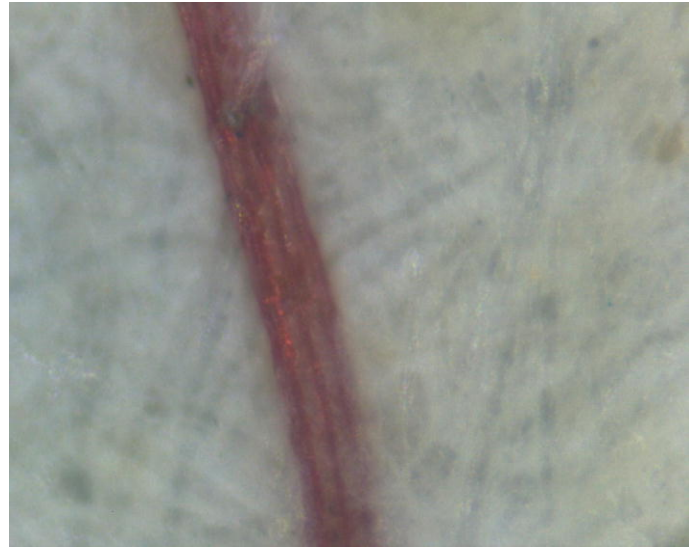


2 )( 青色 )

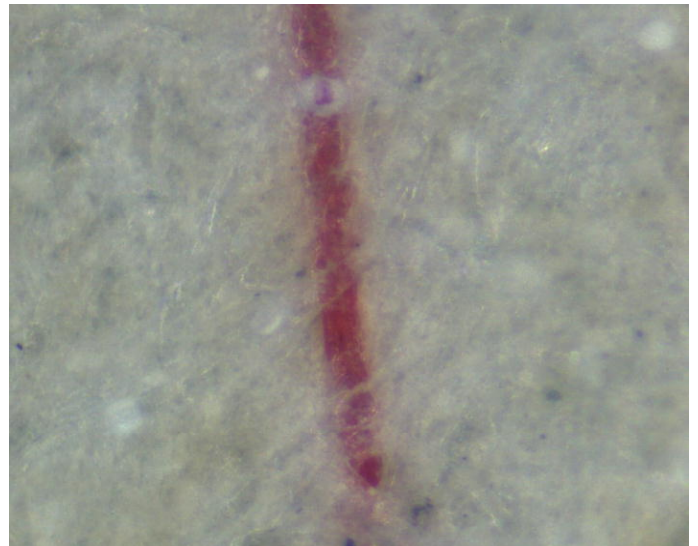
真正券



断面図

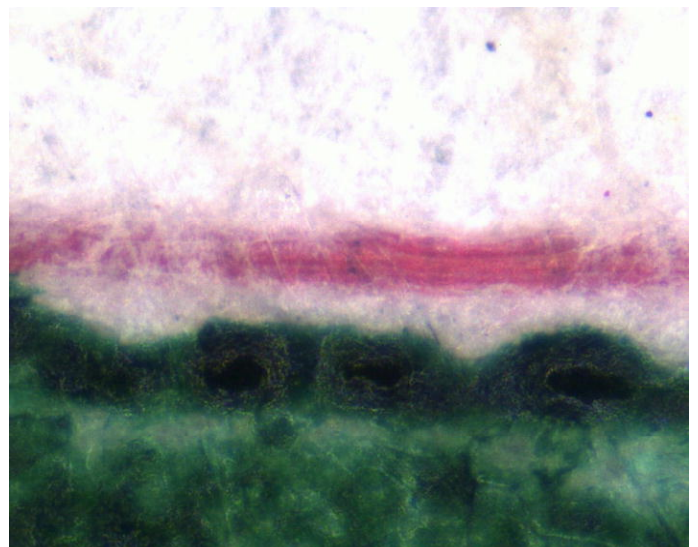


DB券v1



DB券v2

DB券v1と同様である。



# 付録：スーパーノートDB券v2の改善点（裏面の印刷サイズ）

スーパーノートDB券v2の改善点（裏面の印刷サイズ）

真正券



スーパーノートDB券v1



スーパーノートDB券v2



従来のスーパーノートDB券では裏面の印刷面のサイズが大きいですが、DB券v2では真正券に近く修整されている。

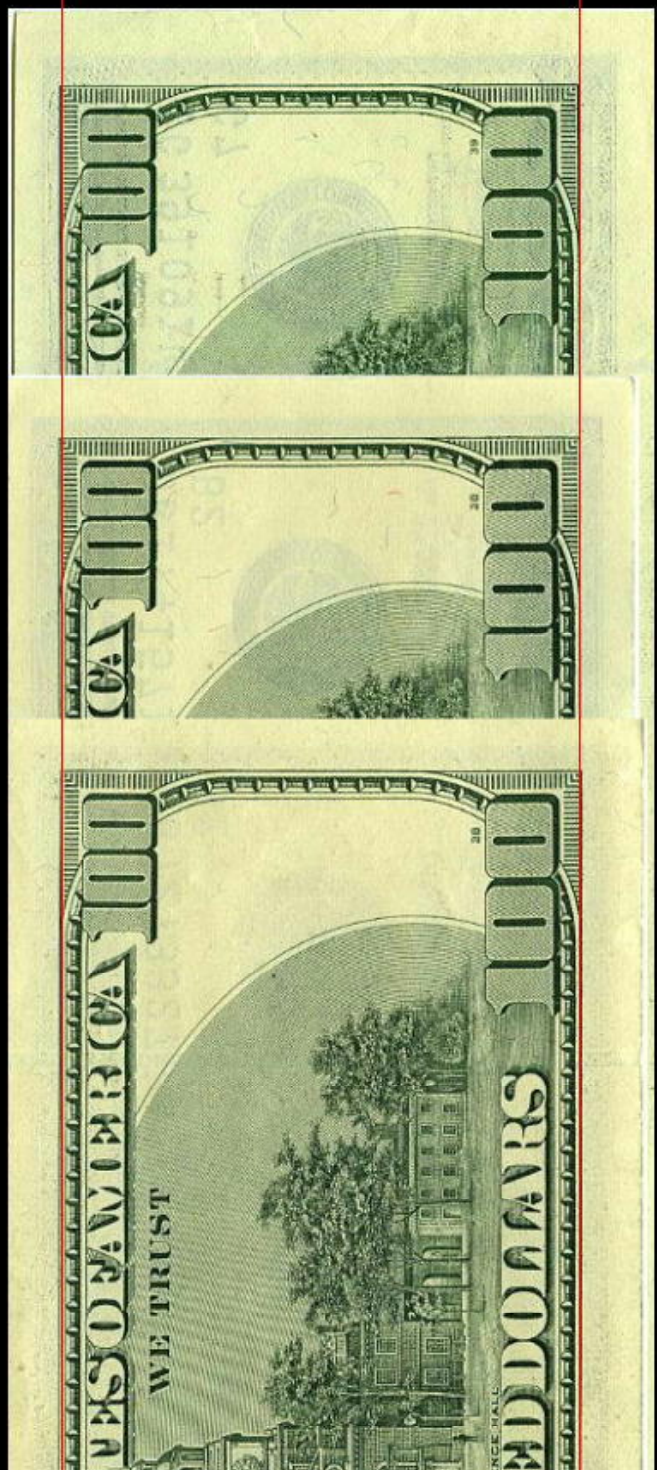
真正券

スーパーノートDB券v2

スーパーノートDB券v1

高さについてもスーパーノートDB券v2ではより真正券に近づいている。

注) 比較サンプルは本来なら真正DB券を使用すべきであるが今回に使用したのは真正DG券であった。SERIES(発行年度)により微妙にサイズ仕様が異なる可能性がある。



## おわりに

今回お知らせするDB券v2（バージョン2とやむなく命名）は、昨年あたりから出まわりはじめた、いわばDB券の修整進化版ということになります。DB券v2の基本仕様はDB券と同じなのですが、いままで鑑定のチェックポイントとなっていた箇所が真正券と同じに修整され、より発見が困難になっています。

偽造券が修整されるということは発見の手がかりを消すために他ならず、より通用力を強化し、さらには陳腐化による闇市場での価格下落をおさえる狙いも考えられるわけです。

それでは、DB券v2はどこがどう変わったのか？ ということですが、これを理解するには真正券、DB券、DB券v2の3仕様を並記して説明する必要があります。そこで今回の鑑定マニュアルは各頁に上段＝真正券、中断＝DB券、下段＝DB券v2のように配置し、拡大写真を参照しつつ視認していただくこととしました。

もちろんDB券v2において、発見の手がかり、すなわち真正券との差異がすべて払拭されたわけではありません。そのまま改善されず旧態依然とした箇所も多数あります。しかしながら、この徐々なる進化の仕方は90年代のスーパーKと通ずるものがあり、私としてはスーパーノートらしい進化のしかたと解している次第です。

ところで、いわゆる96年券のスーパーノート（スーパーX系）にはAB券やCB券、DB券など～Bが多いのはなぜでしょうか。思うに記号～Bはニューヨーク連銀発行の意味であり、12連銀の中で発行部数も多く、人気があるためと考えられるのです。ちなみにあたまたのAやCは発行年度を示しています。CはSERIES2001（ポール・オニール）であり、DはSERIES2003（ジョン・スノー）の意味になり、財務長官の任期ごとに更新されるのはご承知のとおりです。

古い話ですが、1980年代前期に発見された偽造米ドルは非常に品質が悪く、科学警察研究所の鑑定担当者らと「何故だろうね？」との意見交換のしたことがありました。後日80年代前期の真正券が後期にものに比べ、インクの粘性不足で紙面にじんだような印刷不良紙幣が多数発見され、結局真正券のできばえが悪かったため、偽造券の品質も落ちたとの理解に達しました。

スーパーノート出現前夜のはなしです。

追伸：目視による鑑定では、当該偽造券とは異なる種類の偽造券が世の中には存在しており、本マニュアルで指摘した特徴を具有しない偽造券もあり、この点注意を要します。

2010年3月4日

偽造通貨対策研究所 所長遠藤智彦